

『拉致と人生 夢うばわれても』

蓮池 薫 (PHP研究所)

夢と希望を断ち切れ、生きることが、挑戦だった。帰国後の日本での暮らしも、また挑戦…。挑戦とは、現実から逃げないこと。24年間の拉致体験と現在を語る。NHKBS「百年インタビュー」の内容をもとに単行本化。



話題の本、入荷しました！

図書館だより



『ありがとう』

水谷 修 (日本評論社)

不登校、セクハラ被害、引きこもり、引き、援助交際、家庭内暴力…。明日への希望を見失い、過去と今に苦しんでいた10人の「生徒」たちが、自らの手で笑顔を取り戻した記録。

お問合せ先 町立図書館 ☎93-4356

2/25(土) 中央公民館ホール

としょかんまつり

入場料無料

●としょかんまつり

午前10時から正午まで

内容 ・絵本の読み聞かせ

・人形劇

・上城小学校たりほの会親子読書会も出演します

※フリーマーケットも同時開催しています

& サトシン先生(絵本作家)講演会

●サトシン先生講演会 午後6時から8時まで

サイン会や本の販売もあります

サトシン先生は、新潟県出身の絵本作家で、全国各地での講演のみならず、テレビやラジオにも出演し活躍されています。また、サトシン先生は3児の父親でもあり、専業主夫として育児や家事にも取り組んでいらっしゃいます。



【お問合せ先】町立図書館 電話 93-4356

昔ながらの竹細工づくりに挑戦



1月14日、町民体育館において大島地区子ども会創作活動大会「えらぶつ子のつどい」が開催され、子ども会などから26名が参加しました。

この大会は、近年、手作りでおもちゃをつくる機会が少なくなっていることから、現在の子どもたちにも創作活動の難しさや、楽しさを教えることを目的として開催されたもので、竹細工づくり名人の大山澄夫さん(久志検)、榮敏人さん(屋子母)を講師に招き、竹とんぼやござあみなど、子どもたちは昔ながらの竹細工づくりに挑戦しました。

招き、竹とんぼやござあみなど、子どもたちは昔ながらの竹細工づくりに挑戦しました。始めのうち子どもたちは、小刀の扱い方に大変苦労していましたが、講師の方などの丁寧な指導により徐々に慣れていっていった。竹細工のなかでは竹とんぼが一番人気があり、子どもたちは作製した竹とんぼを誰が一番遠くまで飛ばせるか競い合っていました。なかにはうまく飛ばないものもあり、子どもたちは削り直すなど、遠くまで飛ばすことができたまで何度も挑戦していました。

昔と違いおもちゃを自分で作って遊ぶという機会がほとんどない現在の子ども達には、物をつくる楽しさや大変さが分かったようでした。

